



平成24年中の
交通事故概況について

目立った。

④市町村での事故が多発

市町村道での事故は50件(全事故の42.7%)で前年より19件増加し、このうち昼間事故が29件、出合い頭事故が19件と目立った。

⑤女性・高齢者・

若者運転者事故が目立った
女性運転者事故は38件(全運転者事故の30.8%)で前年より10件増加し、特に昼間事故が27件でこのうち出合い頭衝突10件、正面衝突6件と目立った。

◆平成25年交通安全年間スローガン

○運転者(同乗者を含む)に対して『スマホ手に 車や自転車』

○歩行者、自転車利用者に対して『お年寄り 孫のお手本』

○小・中学生に対して『ヘルメット ぼくの大事な おともだち』

※今年も心にゆとりを持って、安全運転を心がけ、事故絶無に努めてください。

昨年、県下での交通事故死者数は121人、前年を19人上回り、前年の年間死者数(102人)を1カ月以上早く上回りました。
全国での岐阜県の位置は、死者数ワースト13位、増加数ワースト1位、増加率ワースト3位でした。
安八町内では1人(前年対比1人増)、大垣警察署管内では6人(前年対比10人減)の方が交通事故で亡くなられました。
県下の交通死亡事故の内容、特徴は次のとおりです。
①高齢死者が7割と目立った
高齢者の死者は80人(前年対比30人増)で、全死者の66%を占め、前年時期(50人)の1.6倍と目立った。
②飲酒関係事故が目立った
飲酒関係事故が8件で前年より4件増加し、深夜から早朝にかけて5件、カーブでの事故が7件と目立った。
③シートベルト非着用が目立った
シートベルトの非着用者が20人と



平成24年度全国統一防火標語
消すまでは
出ない行かない
離れない

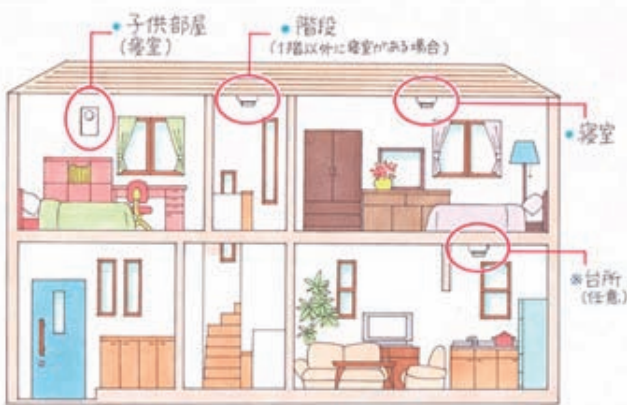
◆3月1日から3月7日は、『春季全国火災予防運動週間』です。

あなたは自分には火事が無縁だと思っていないですか?自分の家は大丈夫だと油断していませんか?
その油断が火事をもたらすかもしれません。この火災予防運動週間にもう一度火事について考えてみてはどうでしょうか?

◆住宅用火災警報器を設置しよう

あなたの住宅に住宅用火災警報器を設置しなければならぬことを知っていますか?既存の住宅については、平成23年6月1日から設置が義務付けられています。設置が義務付けられ1年半以上が経過しましたが、岐阜県の設置率は、いまだ71.3%となっています。

住宅用火災警報器は、火災を初期段階で発見するのに大変有効なものです。これは同時に初期消火につながり、そして何より皆さんの生命、財産を守ることにつながります。まだ設置していない住宅は、早期の設置をお願いします。



▲設置場所の具体例

◆3つの習慣を徹底しよう
○寝たばこは絶対しない。
○ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
○ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。